

# Avastin+XELOX療法【60分】

## 【外科】86【進行性・再発大腸癌】

### (第 コース目)

\*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m <sup>2</sup>	Cr:	mg/dL

### ■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 3週ごとを1コースとする

Day	1	8	15	~21
施行日	/	/	/	/
アバステン	↓	休薬	休薬	休薬
エルプラット	↓	休薬	休薬	休薬
ゼローダ	経口:Day1(夕)~Day15(朝)			

### ■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	
①	アロカリス注235mg 1V デキサート注1.65mg 2A グラニセトンバッグ 100mL 30分
②	●アバステン注【 】mg 生食 100mL 1時間
③	●エルプラット注【 】mg 5%ブドウ糖 500mL デキサート注1.65mg 1A 2時間
④	生食 50mL 10分 フラッシュ

### ■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量	
アバステン注	7.5mg/kg	
エルプラット注	130 mg/m <sup>2</sup>	mg/Body
ゼローダ錠	2000 mg/m <sup>2</sup> /分2	mg/Body

※ゼローダ錠は2週間連日投与後、1週間休薬。

### ■注意・確認事項

- エルプラット注は塩化物・塩基性溶液との混和は不可。
- アバステンは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。  
2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。
- アバステンとブドウ糖溶液を混合した場合、アバステン(ベバシズマブ)の力価の減弱が生じるおそれがあるため、ブドウ糖溶液との混合を避け、アバステンとブドウ糖溶液の同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。

入力 薬剤師	看護師	看護師